

■中村天風 思想伝道家。43歳の時、地位財産一切放棄して説法始め、会員組織により、各界のトップを多数訓育。

なかむらてんぷう

三つの内乱・1876＝ 旧柳川藩主一門で大蔵省の要職にあった父、江戸生まれの母の三男として、東京王子に生れる。

明治14年政変1881＝ 5歳：

内閣発足・・・1885＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝13歳：東京の小学校を卒業し、九州福岡の修猷館に入学。

大本教・・・1892＝16歳：修猷館を退学。頭山満の玄洋社に預けられる。その気性の激しさから、“玄洋社の豹”といわれた。陸軍中佐で軍事探偵の河野金吉に同行し、日本と開戦間近の雲行き清国に渡り、約1年間、偵察・調査の仕事に従事。その間、中国語を修得。

日清戦争始・1894＝18歳：この頃学習院に入学するが、間もなく退学。

教科書疑獄・1902＝26歳：参謀本部諜報部員として満州に。日露戦争開戦前の情報活動と後方攪乱工作に当たる。

日比谷公園・1903＝27歳：

日露戦争始・1904＝28歳：日露戦争勃発。捕虜になるが、味方の手榴弾で九死に一生を得るなど、死と隣り合わせの日々で、

日露戦争終・1905＝29歳：軍事探偵のわずかな生存者として帰還。

満鉄発足・・・1906＝30歳：奔馬性肺結核を発病。死の恐怖を覚える。

この頃、医学、宗教、哲学、心理学の書を読みあさる。

伊藤博文暗殺1909＝33歳：この年、父が死去したことも知らずに、‘座して死を待つよりも’と活路を求めてアメリカに渡る。

アメリカ随一の青年哲学者に合うが、得るものなく、嗜血などが続いたが、病状が小康状態のとき、

大逆事件判決1911＝35歳：コロンビア大学で医学を学ぶ。その後、イギリス、フランス、ドイツなど、救済の旅が続く。サラ・ベルナールを介するなどして、多くの人材と交流するが、得られず、あきらめて帰国中、カイロでヨガの聖者カリアップ師にめぐり合い、ヒマラヤの高峰カンチェンジュンガの山麓で2年半ほど修行し、新境地を開く。

明治天皇没・1912＝36歳：

大正政変・・・1913＝37歳：帰国途中、中国の辛亥革命に参加、孫文に肩入れするも挫折。

帰国後数年にして東京実業貯蔵銀行頭取をはじめ、いくつかの要職に就き、実業界で大いに活躍するが、

ベル仁条約・1919＝43歳：*突如感ずるところがあり、いっさいの社会的地位、財産を放棄し、大道で辻説法を開始。{統一教会}のちに{統一哲医学会}と改称、最初の段階で、早くも東郷平八郎元帥など入会。

原敬首相暗殺1921＝45歳：

関東大震災・1923＝47歳：朝鮮支部ができる。

護憲三派圧勝1924＝48歳：小松侯爵が入会。尾崎行雄、後藤新平、浅野総一郎らが聴講。

この頃、松下幸之助の将来性を見出す。

海軍軍縮条約1930＝54歳：

満州事変・・・1931＝55歳：

日中戦争始・1937＝61歳：

第二次大戦始1939＝63歳：

大政翼賛会・1940＝64歳：{天風会}と改称。

日米開戦・・・1941＝65歳：

敗戦・・・1945＝69歳：

戦後は著書によっても教えを広め、

新憲法施行・1947＝71歳：「真人生の探求」。*GHQの要請で幹部連に集中講演、来日中のロックフェラー三世も感銘、活動を再開。

極東裁判決・1948＝72歳：

三大事件・・・1949＝73歳：「鍊身抄」。

独立回復・・・1951＝75歳：

なべ底不況・1957＝81歳：

全国総合計画1962＝86歳：*活動の公益性を認められ{財団法人天風会}となり、稲盛和夫ら直接薫陶を受けたものは十万人を数え、

TV宇宙中継始1963＝87歳：「研身抄」。

大学紛争始・1965＝90歳：「安定打坐考抄」。

震ヶ関ビル・1968＝92歳：護国寺内に天風会館が落成した後、没した。のち、会員数はのべ百万人にもなった。

松本幸夫「中村天風伝」、